

さとうきび等安定生産体制緊急確立事業のうち
甘味資源作物等農業機械等リース支援事業
(さとうきび農業機械等リース支援事業)
事業実施状況報告書

事業実施年度 : 平成25年度 (令和元年度実績)

事業実施主体名 : ○○農業協同組合

第2 導入機械等の活用状況（※第2については、事業実施年度の翌々年度からリース契約終了年度の翌年度まで報告する場合に使用。）

本事業で導入した機械について、稼働率は〇%と適切に使用され、適正に事業は執行された。

【稼働率が低い（8割以下）の場合】

本事業で導入した機械について、稼働率は〇%となっているが、これは〇〇といった理由であり、〇〇に取り組めば、適切な稼働率となる見込みであった。
 本年度で事業によるリース期間は終了となるが、今後、新たに〇〇（自己資金、リース会社からの融資等）で購入した機械等を使用する場合、又は国庫事業に取り組む際は、これらを踏まえた適正な機械の活用に努めてまいりたい。

農業機械等	指標	1年目 (25年)	2年目 (26年)	3年目 (27年)	4年目 (28年)	5年目 (29年)	6年目 (30年)	7年目 (元年)
	受益面積 (ha)							

- (注) 1 導入した農業機械等が複数ある場合は、欄を適宜追加して記載すること。
 2 リース契約が継続していることが分かる資料を添付すること。

事業実施計画書に記載した機械等名と受益面積の数字をそのまま記載してください

昨年(元年)報告した実績値をそのまま記載してください

第1の受益面積(元年度の実績値)を記載してください

・導入機械の稼働状況に応じて記載
 ・稼働率は導入機械の「元年度使用(受益)面積÷計画時の受益面積」で計算
 ・導入機械が複数ある場合は、機械毎の稼働率を単純平均
 ・稼働率が低い場合は、低くなった理由(外的要因等)、稼働率向上に向けた取組内容を記載

さとうきび等安定生産体制緊急確立事業のうち
甘味資源作物等農業機械等リース支援事業
(北海道・南九州畑作物農業機械等リース支援事業)
事業実施状況報告書

事業実施年度 : 平成25年度 (令和元年度実績)

事業実施主体名 : ○○農業協同組合

第2 導入機械等の活用状況（※第2については、事業実施年度の翌々年度からリース契約終了年度の翌年度まで報告する場合に使用。）

本事業で導入した機械について、稼働率は〇%と適切に使用され、適正に事業は執行された。

【稼働率が低い（8割以下）の場合】

本事業で導入した機械について、稼働率は〇%となっているが、これは〇〇といった理由であり、〇〇に取り組めば、適切な稼働率となる見込みであった。
 本年度で事業によるリース期間は終了となるが、今後、新たに〇〇（自己資金、リース会社からの融資等）で購入した機械等を使用する場合、又は国庫事業に取り組む際は、これらを踏まえた適正な機械の活用に向けてまいりたい。

農業機械等	指標	1年目 (25年)	2年目 (26年)	3年目 (27年)	4年目 (28年)	5年目 (29年)	6年目 (30年)	7年目 (元年)
	受益面積 (ha)							

・導入機械の稼働状況に応じて記載
 ・稼働率は導入機械の「元年度使用(受益)面積÷計画時の受益面積」で計算
 ・導入機械が複数ある場合は、機械毎の稼働率を単純平均
 ・稼働率が低い場合は、低くなった理由(外的要因等)、稼働率向上に向けた取組内容を記載

- (注) 1 導入した農業機械等が複数ある場合は、欄を適宜追加して記載すること。
 2 リース契約が継続していることが分かる資料を添付すること。

事業実施計画書に記載した機械等名と受益面積の数字をそのまま記載してください

昨年(元年)報告した実績値をそのまま記載してください

第1の受益面積(元年度の実績値)を記載してください